

第 2 3 回災害対策本部会議

| | |
|-----|---|
| 日 時 | 令和元年 11 月 18 日 (月) 13 : 30 |
| 場 所 | 市役所本庁舎 2 階 特別会議室 |
| 出席者 | 市長、吉崎副市長、菅野副市長、各特別職、各部局長、国土交通省東北地方整備局、福島県、陸上自衛隊、郡山警察署、郡山北警察署、消防本部、郡山市消防団、郡山医師会、郡山市社会福祉協議会 |

【部局長報告】

○保健福祉部長

- ・避難所状況は、11 月 18 日現在の避難者カードでは 11 箇所、152 世帯、317 人であり、うち避難所宿泊者は 119 世帯、205 人である。
- ・福祉避難所（南東北特養）は 11 月 16 日に閉鎖した。
- ・11 月 21 日から 24 日にかけて高瀬小学校の避難所は高瀬地域公民館へ移行予定である。
- ・各種支援制度の申請受付件数について、郡山市災害見舞金が 132 件で、生活再建支援金は 66 件、災害援護資金貸付金は 2 件である。

○保健所長

- ・医師による避難所における健康チェックについては、郡山医師会 JMAT チームが 11 月 19 日から 11 月 20 日まで行う。

○税務部長

- ・り災証明発行件数は 11 月 17 日現在で 2,674 件である。
- ・調査、発行応援を続けてきたチーム新潟は昨日で一旦終了した。
- ・り災証明書発行応援として福島県 20 名、税務署 5 名、喜多方市 3 名、財務事務所 1 名にご協力いただいている。

○産業観光部長

- ・11 月 18 日現在の企業等被害状況については、被害があった企業は 455 社であり、そのうち被害額の報告のあった企業は 292 社で被害額は 361 億 9 千万円である。

【リエゾン等】

○福島県警察

- ・引き続き被災地の警戒を実施していく。

○自衛隊

- ・郡山駐屯地から現在いわき市へ災害派遣中である。

○国土交通省郡山国道事務所

- ・藤田川の左岸工事は完了した。

○福島県

- ・り災証明の現地確認に 10 名を派遣している。発行支援については 15 日までに 10 名、明日からの第 2 クールに 10 名を派遣予定。避難所支援については 6 名を派遣している。

○消防本部

- ・日本大学工学部周辺地域の減災モデルプロジェクトについて連携する準備をしている。

○消防団本部

- ・秋の検閲は自粛する。各地区隊で放水、排水訓練、秋の防火パレードを実施していく。

【市長より】

- ・寒くなってきており、一同、健康管理に留意のこと。
- ・り災証明書発行が進んできたが、り災証明はゴールではなく支援のスタートであり、処理は正確かつ迅速に行うこと。
- ・谷田川の樹木伐採については県、関係機関に感謝申し上げる。
- ・国、県に要望に出向く機会が増えるため、各部局において要望等を取りまとめること。
- ・テクノアカデミー（水門町）の地域支援活動に感謝を申し上げる。
- ・避難所においてはカウンセリングにより支援措置をわかりやすく説明すること。
- ・グループ補助等、企業等への支援のための相談窓口を設置するので、各部局対応できるようにすること。